

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<52週> インフルエンザ - わずかずつながらも、ここ5週は定点当たり報告数が増加している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 感染性胃腸炎 > 第52週の全国定点からの報告総数は33,408(平均の定点当たり報告数11.13)
< インフルエンザ警報・注意報 > 都道府県別地図



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎



速報
P.6

社内会議用弁当にて発生したノーウォーク様ウイルスによる食中毒事例 - 徳島県



海外感染症情報
P.7

ガボンのエボラ出血熱流行 - 更新 / 英国の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病



感染症の話
P.8-10

クリプトスポリジウム症
ヒトおよび家畜に世界中で感染が認められる原虫性下痢症で、散発事例は極めて少ないものの、水道水や食品を介した集団発生が重要である



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(52週)
P.12-18



52週のデータ
P.19-26



発生動向総覧

第52週コメント 1月9日集計分

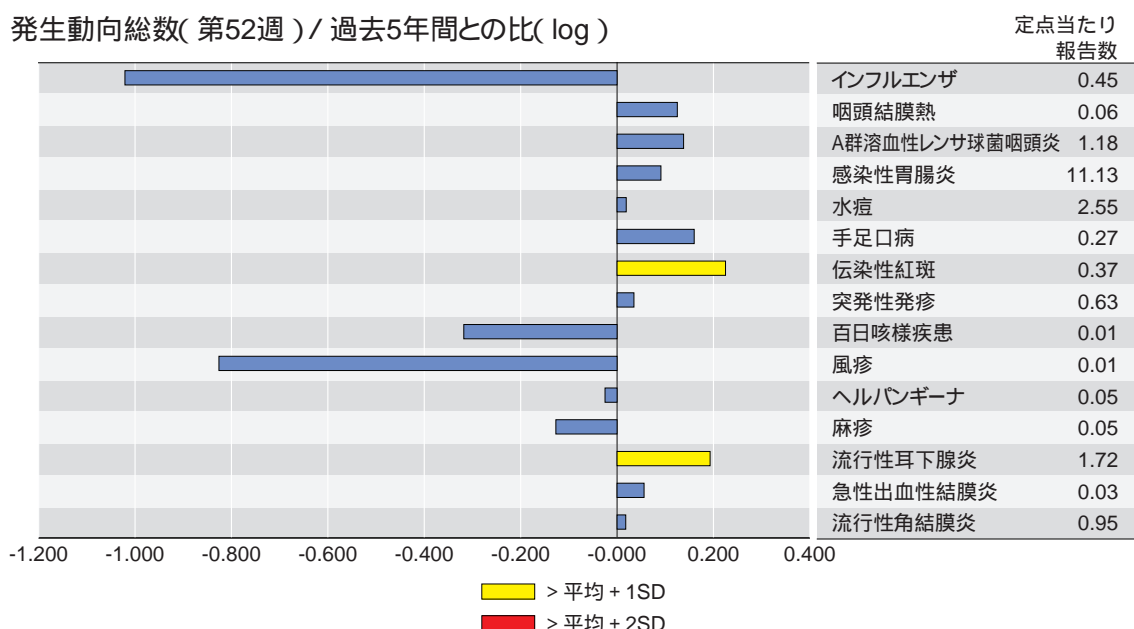
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢28例(推定感染地: 国内25例、インドネシア3例。国内感染例のうち、佐賀県から20例で、県内保育園での集団発生が確認されている。) 腸チフス(推定感染地: 東南アジア - ベトナム・タイ・ネパール・インド - 旅行中) パラチフス1例(推定感染地: インド)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症9例(有症者7例のうち1例がHUSを呈し、重症と報告されている。)
- 4類感染症: アメーバ赤痢5例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症2例(推定感染地: 東南アジア1例、アメリカ合衆国1例) ツツガムシ病11例(うち鹿児島県からの報告7例)
 デング熱1例(推定感染地: インドネシア) 破傷風1例(宮城県61歳男性)
 後天性免疫不全症候群12例(AIDS 1例、無症候性キャリア10例、その他1例)
 感染経路: 性的接触10例(同性間6例、異性間4例)
 経静脈薬使用1例、不明1例
 梅毒8例(早期顕症4例、無症候4例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は山形県で4.8と多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数が増えているのは、宮崎県(29.0)、石川県(20.7)などであるが、前週に比べ多くの都道府県で報告数は減少している(感染性胃腸炎の詳細な情報については、4ページ「注目すべき感染症」参照)。水痘の定点当たり報告数が増えているのは鳥取県(4.6)、福井県・宮崎県(4.4)、香川県(4.3)などである。伝染性紅斑は非流行期であるが、過去5年間の同時期と比較するとやや定点当たり報告数が増え、秋田県で定点当たり2.2の報告がある。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続しており、石川県(定点当たり7.0)、長野県(5.7)、沖縄県(5.0)、愛媛県(4.4)などで報告が増えている。インフルエンザは流行開始の指標と考えられる定点当たり報告数1.0を越えておらず、群馬県、大分県、宮崎県でそれぞれ定点当たり報告数2.7、2.6、1.7となっている。感染症発生動向調査警告発生システムによれば、群馬県、大分県、愛知県内のそれぞれ1保健所にインフルエンザ注意報が発生している。感染症情報センターの調査によると、群馬県では患者から採取された検体からA香港(H3N2)型ウイルスが分離されており、愛知県内の報告では、迅速診断キットによりA型、B型の両方の診断がなされている。

発生動向総数(第52週) / 過去5年間との比(log)

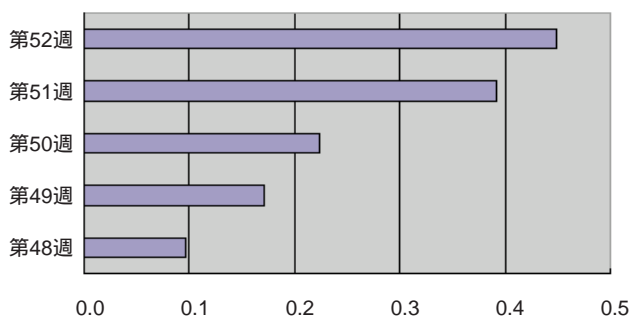


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

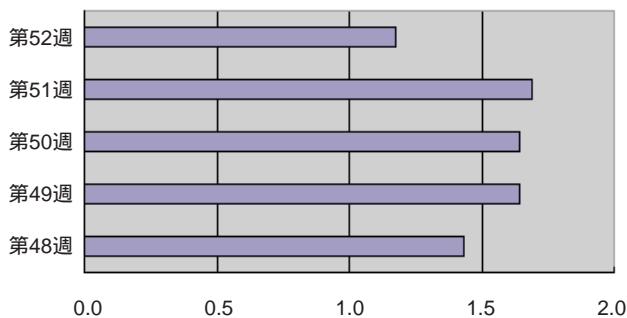
最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザはわずかずつながらも、ここ5週は定点当たり報告数が増加している。そのほかの疾患はいずれも前週に比べ、減少している。

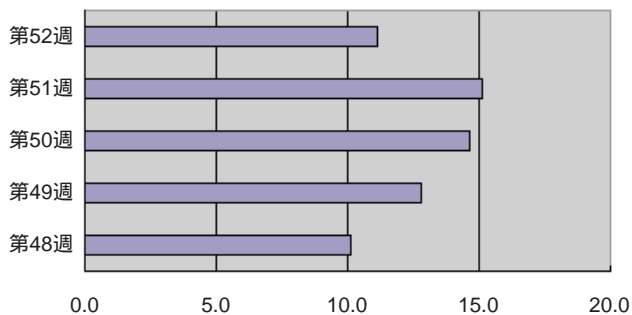
インフルエンザ



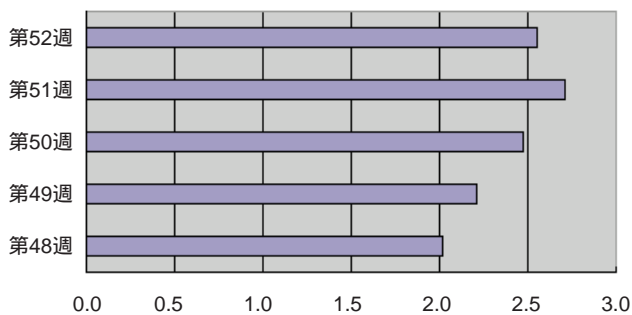
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



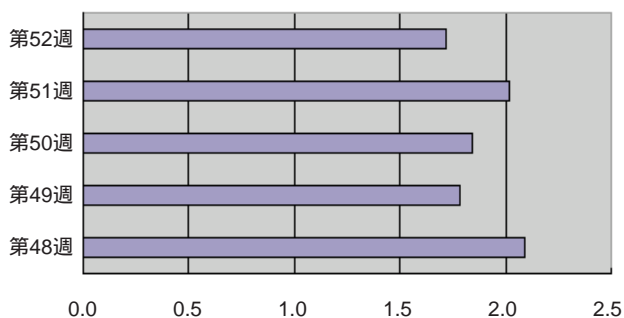
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



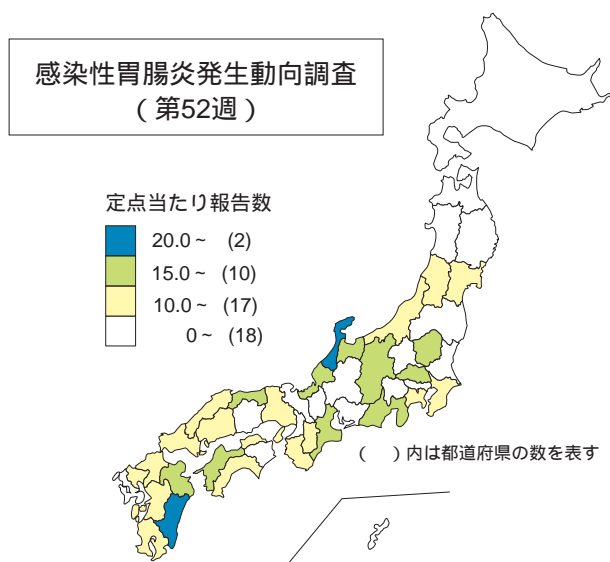
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

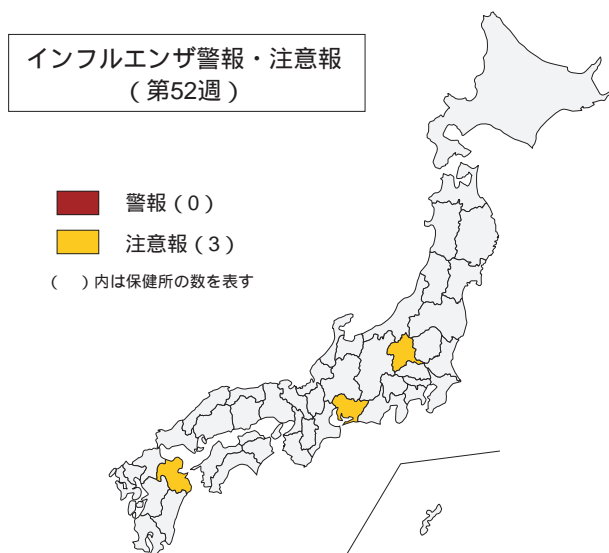
感染性胃腸炎

今シーズンの感染性胃腸炎は第39週より患者報告数が徐々に増加し始め、第45週～50週には急増し、現在のところ第51週がピークとなっている(13ページ「感染性胃腸炎」グラフ参照)。第52週の全国定点からの報告総数は33,408、平均の定点当たり報告数は11.13となっている。定点当たり報告数が多くなっている都道府県は宮崎県(29.0)、石川県(20.7)、福井県(19.7)、三重県(19.5)、富山県(18.0)、大分県(18.0)などである。病原体検出情報事務局には、多くのSRSVの検出情報が寄せられている(ウイルスの検出情報については5ページ参照)。



インフルエンザ警報・注意報

第52週には、群馬、愛知、大分各県内のそれぞれ1保健所にインフルエンザ注意報が発生している。





病原体情報

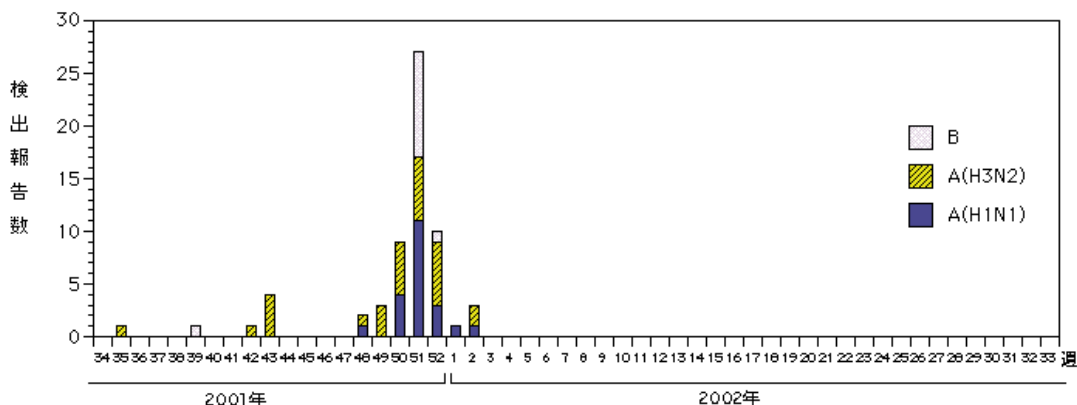
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年1月11日現在報告分)

インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離報告は、A/香港型ウイルス(H3)が29件(沖縄県6、高知県5、大阪府3、福島県、群馬県、埼玉県、横浜市、静岡県各2、千葉県、長野県、愛知県、兵庫県、神戸市各1)、A/ソ連(H1)型が21件(三重県5、高知県5、北九州市4、石川県2、埼玉県、大阪市、山口県、福岡市、沖縄県各1)、B型は12件(名古屋市7、岡山県3、石川県、愛知県各1)である。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報：2002年1月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。
(*他に40週AH3, 49週Bが国立仙台病院で分離されている)

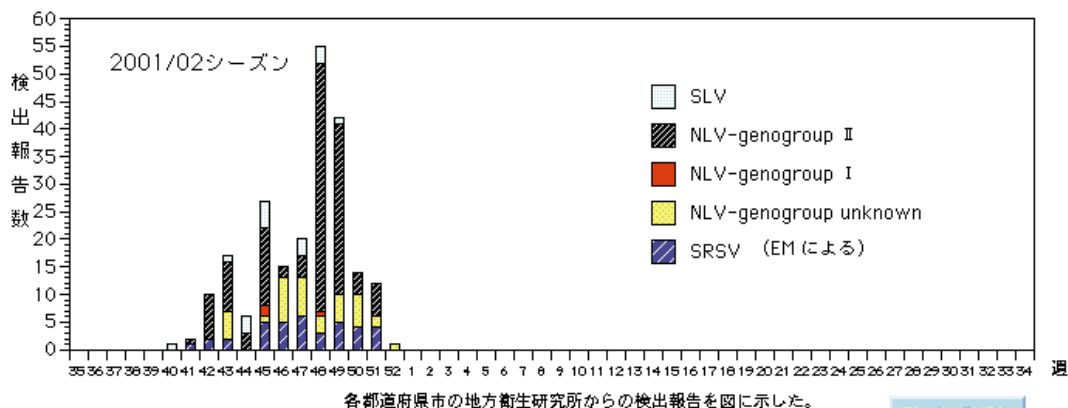


感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSV検出として、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが127件(大阪府24、岡山県18、東京都17、熊本市13、岩手県12、滋賀県12など)、NLV genogroup Iが3件(秋田県、東京都、石川県各1)、NLV genogroup unknownが38件(新潟県19、秋田県8、東京都8、鳥取県3)、サッポロ様ウイルス(SLV)17件(愛媛県10、岩手県7)、電顕による検出37件(愛媛県15、岡山県8、北九州市8、栃木県4、埼玉県2)の報告がされた。また、A群ロタウイルス13件(新潟県8、東京都2、岩手県1、埼玉県1、大阪府1)、群不明ロタウイルス1件(熊本県)の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン

(病原微生物検出情報：2002年1月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





社内会議用弁当にて発生したノーウォーク様ウイルスによる食中毒事例 - 徳島県

概要および疫学調査: 2001年11月2日、徳島県阿南市内の医師より、食中毒症状を呈している患者を診察し、この患者の職場でも多くの職員が同様の症状を訴えている模様と、阿南保健所に連絡が入った。同保健所による調査の結果、この患者が勤務する阿南市内の事業所にて、職員23名が下痢・嘔吐など食中毒症状を呈していることが判明した。また、発症者の共通食として、社内食堂および10月30日夕刻の社内会議に出された弁当があげられたが、一部の職員が弁当を持ち帰り、それを食した職員の家族も発症していることより、この同市内の飲食店で調理、配達された弁当が原因食として推定された。

喫食者数42名のうち24名が発症(57%)し、潜伏時間は13~51.5時間(平均34.2時間)であった。発症者の主な臨床症状は、嘔気・嘔吐19名(79%)、下痢18名(75%)、腹痛13名(54%)などであり、発熱も17名(71%)に見られた。

対象および方法: 検査対象は、11月2~6日にかけて採取された喫食者糞便18検体(有症13名、健康5名) および調理従事者糞便3検体(有症1名、健康2名)で、食材は採取することができなかった。検査方法は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)の検索はRT-PCR法(プライマー: NV81/82, SM82, Yuri22F/R, SR33/48, 50, 52, SR33/46)を実施し、陽性検体についてドットハイブリダイゼーション(プローブ: Andoら、J. Clin. Microbiol., 33: 64, 1995)にて確認検査を行った。またロタウイルス、アデノウイルスの検出については市販のラテックス凝集法(第一化学)を使用し、同時に一般食中毒細菌検査も実施した。

結果: 喫食者糞便18検体中10検体(有症9、健康1)から、調理従事者糞便については3検体すべての計13検体からRT-PCR法にて陽性バンドが認められた。そして、確認試験であるドットハイブリダイゼーションでは13検体すべてがP1Aプローブとのみ反応し、genogroup(G)型に属するNLVと確認された。また、ロタウイルス、アデノウイルスは全検体陰性であり、一般食中毒細菌検査でも特定の細菌は検出されなかった。

まとめ: 喫食者および調理従事者糞便からNLVが検出され、他に食中毒起因微生物は検出されず、本食中毒事例はNLVが原因と断定された。また、NLV由来の食中毒事例の原因としてカキなどの二枚貝が多く報告されているが、本事例の推定原因食に二枚貝は含まれていない。しかし、調理従事者および発症者糞便から同じ遺伝子型に属するNLVが検出され、調理施設での聞き取り調査にて、調理従事者の一人が推定原因食調理時に嘔気などの症状を訴えていたことなどより、本事例の原因として、調理従事者から食品への汚染が原因であったと強く疑われた。

従来、国内で発生する胃腸炎事例から検出されるNLVはGII型が多く報告されてきたが、近年、GI型NLVによる報告例も見られるようになってきた。徳島県においても同様の傾向が見られ、本事例から検出されたNLVはすべてGI型に属していた。今後報告されるNLVのgenogroupの変化に注目したい。

徳島県保健環境センター 嶋田啓司 山本保男
徳島県阿南保健所 佐々木啓司 久米田慶子 大久保孝樹

(IASR2002年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ガボンのエボラ出血熱流行 - 更新

WHO/CSR 2002年1月9日

1月7日現在、25名の死亡例(ガボン18名、コンゴ共和国7名)を含む34名のエボラ出血熱診断確定患者が報告された。34名の確定診断患者のうち、21名がガボンで、13名が両国の国境近くのコンゴ共和国内のいくつかの村で見つかった。さらに、ガボンで16名の疑い患者を調査中である。

2002年1月7日現在、231名の接触者(ガボン197名、コンゴ共和国34名)が確認された。

国際対策チームはMekambo地区の安全が懸念されるため、一時的にMekokouに滞在場所を移動した。対策チームは、州および政府当局者たちとともに現状の再評価を行っており、現地当局者とともに流行を沈静化させる努力を継続するため、できるだけ早くMekamboに戻ることを計画している。

英国の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病

Eurosurveillance weekly 2002年1月10日

英国保健省は、牛海綿状脳症に関連した病型の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)を含む最新のクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の患者数を公表した。

2002年1月7日までに英国でvCJDにより104名が死亡した。現在、9名のvCJD(確実例、およびほぼ確実例)が生存している。2001年にエジンバラのCJDサーベイランス部に170件の問い合わせがあり、20名のvCJDを含む63名がCJDと確定診断された。

vCJDは2000年に28名、1999年に15名、1998年に18名、1997年に10名が報告された。



感染症の話

クリプトスポリジウム症

従来、クリプトスポリジウム(*Cryptosporidium*)はウシ、ブタ、イヌ、ネコ、ネズミなどの腸管寄生原虫として知られてきたものであるが、ヒトでの感染は1976年にはじめて報告された。1980年代に入ってから後天性免疫不全症候群(AIDS)での致死性下痢症の病原体として注目され、その後ほどなく、健常者においても水様下痢症の原因となることが明らかとなった。英米両国では、1980年代中頃から頻りに水系汚染に伴う集団発生が報告されるようになってきている。その中で、1993年の米国ウイスコンシン州ミルウォーキ-市では、40万人を超える住民が本症に罹患する未曾有の集団感染が起きている。わが国では、1994年に神奈川県平塚市の雑居ビルで460人余の患者が発生し、1996年には埼玉県越生町で町営水道水を汚染源とする集団感染が発生し、8,800人におよぶ町民が被害を被った。したがって、本症に関しては散発例よりむしろ水道水や食品を介した集団発生が重要となる。

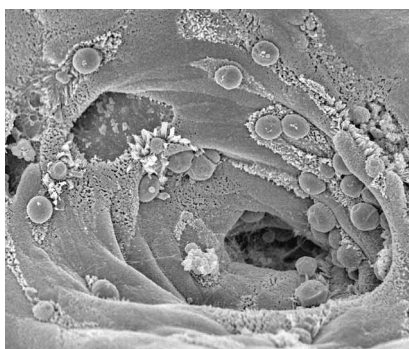


図1. *Cryptosporidium* 感染マウス腸管の走査電子顕微鏡像

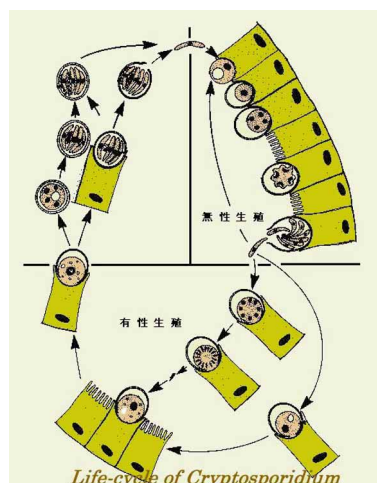


図2. *Cryptosporidium* の生活史

疫学

ヒトおよび家畜における感染状況は国により異なるものの、世界中で感染が認められる。1997年にまとめられた文献調査によると、健常者の下痢症については、発展途上国では6.1%、先進国では2.1%が本原虫の感染に起因していた。一方HIV陽性者の下痢症の場合、それぞれ24%および14%が本原虫によるものであった。一方、ウシを中心とした調査では、患畜を含めると非常に高い感染率が示されている。わが国でも幼若令のウシやブタから頻りに検出されており、畜産の分野では必ずしもまれな病気ではない。また、イヌ、ネコなどからの検出の報告もある。

ちなみに、上述の集団感染事例を除いたわが国での散発例はきわめて少なく、ある集計によると1986年から1997年1月までの全症例数は37名で、海外旅行者13名、エイズ患者12名、獣医学関係学生(感染牛との接触)9名となっている。また、1999年4月の感染症法施行から2001年12月までに届けられたクリプトスポリジウム症患者数は、18件にとどまっている。これらの数値の示すところが、本症への関心の低さに原因していなければ幸いである。

病原体

クリプトスポリジウムは孢子虫類に属する原虫で、人への感染は主に *C. parvum* とされるが、DNA解析によってヒト型、ウシ型、トリ型、その他の遺伝子多型を示すことが明らかとなっている。AIDS患者ではさらに *C. baileyi* など異種の感染も否定できない。

クリプトスポリジウムは宿主の腸管上皮細胞の微絨毛に侵入して寄生体胞を形成し、無性生殖によりメロゾイト形成を行う。宿主細胞から遊離したメロゾイトは再び微絨毛へ侵入することで著しく数を増す。やがて有性生殖の過程へ移行し、直径4~5 μm程度のほぼ球形のオーシストが形成される。オーシスト内には4個のスポロゾイトが発育し、この時点で感染性を有するようになる。微絨毛から脱離したオーシストはその場でスポロゾイトを放出して自家感染を繰り返すか、糞便とともに外界へ排泄されて、水や食品に混じって新たな感染を起こす。感染者一人が排出するオーシストは10¹⁰個にのぼると言われている。

臨床症状

健常者：免疫の正常な人が罹患した場合の臨床症状は、下痢(主に水様下痢)、腹痛、倦怠感、食欲低下、悪心などが挙げられ、軽度の発熱を伴う例もある。下痢は一日数回程度から20回以上の激しいものまで多様で、数日から2~3週間持続する。抗菌薬は無効であるが、自然治癒する。原因微生物が検出されない旅行者下痢症、あるいは既知の腸管系病原体を検出した症例であっても不可解な腹部症状が持続する場合には、ジアルジアとともに本症を考えるべきであろう。また、集団下痢症が発生した際に通常の病原体が検出されない場合には、本症の可能性を念頭において検査を進める必要がある。

AIDS：本原虫は免疫不全宿主に重症・難治性・再発性・致死性下痢症を発症させる。下痢は非血性であり、その程度は軟便・泥状から水様便までさまざまであるが、免疫不全の進行とともに重症化する傾向がある。重症例では、コレラに見られるような大量の水様便や失禁を伴うことが報告され、このような例では本感染症が直接死因となることが多い。治療にあたってはいくつかの薬剤が使用されるが、効果は一過性であり、多くの場合に再発、再燃する。また、免疫不全の進行や投薬の中止とともに症状が増悪する。健常者での感染部位は小腸付近に限られるが、AIDSでは胆嚢、胆管や呼吸器系への感染も報告されている。

病原診断

クリプトスポリジウム症の診断は検便でオーシストを検出することによる。急性期の患者便には多量のオーシストが排出されているが、通常の塗沫標本観察では確認がむずかしい。遠心沈殿法やシヨ糖浮遊法により集オーシストを行い、蛍光抗体法、抗酸染色、ネガティブ染色などの染色標本を作製することが望まれる。蛍光抗体染色がもっとも感度が良い検査法で、市販の簡便な染色用キットが

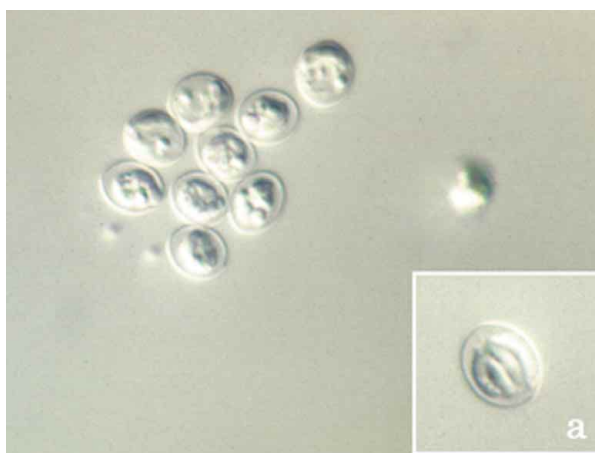


図3. *C. parvum* オーシストの微分干渉像

ある(未承認のため保健適用外)。オーシストの内部構造観察には微分干渉顕微鏡が用いられる。

検査法等に関しては <http://www.nih.go.jp/tendo/atlas/japanese/crypt.html> を参照されたい。

治療・予防

下痢の程度が軽度である場合には、非特異的治療法である(1)食餌制限、(2)水・電解質の摂取(WHO処方によるORSで、いわゆるスポ - ツ飲料水がこれに近い組成)を行う。これに加えて鎮痙剤、激しい下痢症例では止瀉剤が用いられている。

AIDSに合併した症例で、長期間持続する下痢症に対してはパロモマイシン(2グラム、3週間)の経口投与が行われる。症状が寛解した段階でパロモマイシンの維持投与を行うこともある。

クリプトスポリジウムは強い感染力を持ち、米国でのヒトへの感染実験では130個程度の経口摂取で半数が感染すると計算されている。ちなみに、1個のオーシストの摂取で感染する確率は0.4%と計算されている。その後、株によって毒性に差があることが示され、10個未満の摂取で発症するとの報告もある。オーシストの感染力は、水中で数カ月程度保持されるものと考えられている。また、通常の浄水処理(凝集、沈殿、ろ過)で完全に除去することは困難で、塩素消毒にも抵抗性であることから、水道水汚染には注意が必要である。AIDS患者をはじめとする免疫機能低下症患者は、生水の摂取などを避けるべきであろう。

感染症法における取り扱い

クリプトスポリジウム症は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

- ・病原体の検出

例、糞便などからの鏡検による原虫(オーシスト)の証明など

《備考》

世界的に広く分布し、本原虫による水道水の汚染が問題となっている。また、米国等ではエイズ患者の重篤な合併症として注目されている。

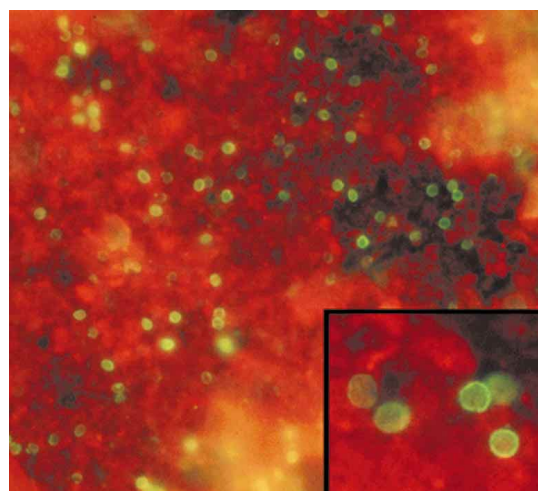


図4. *C. parvum* オーシストの蛍光抗体染色像

(国立感染症研究所寄生動物部 遠藤卓郎)



読者のコーナー

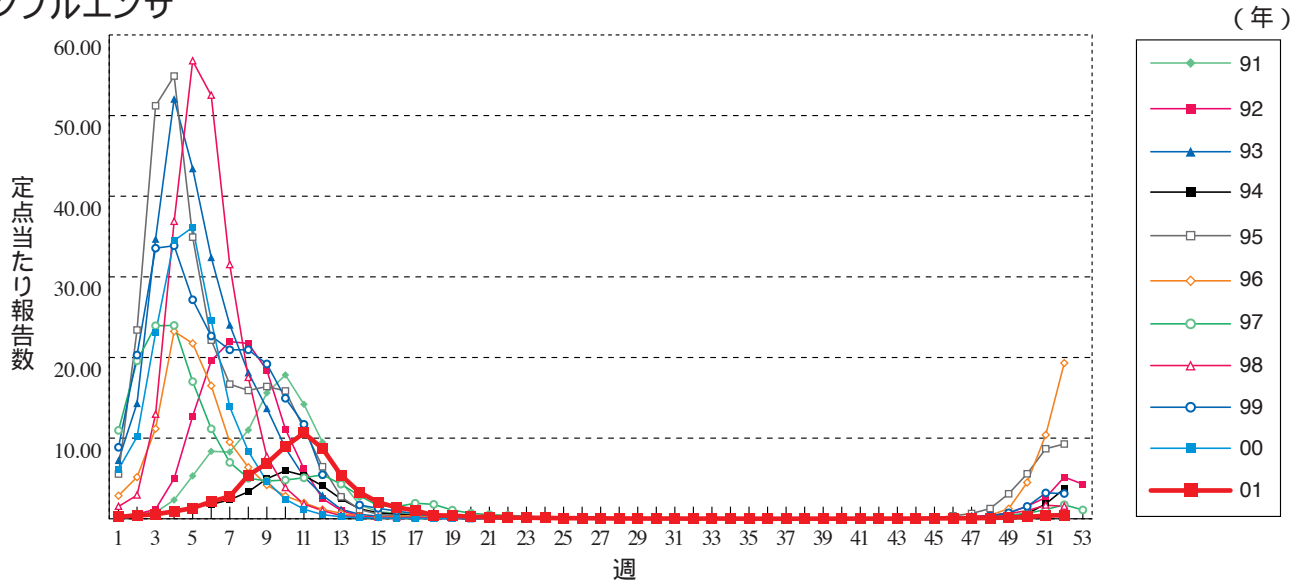
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

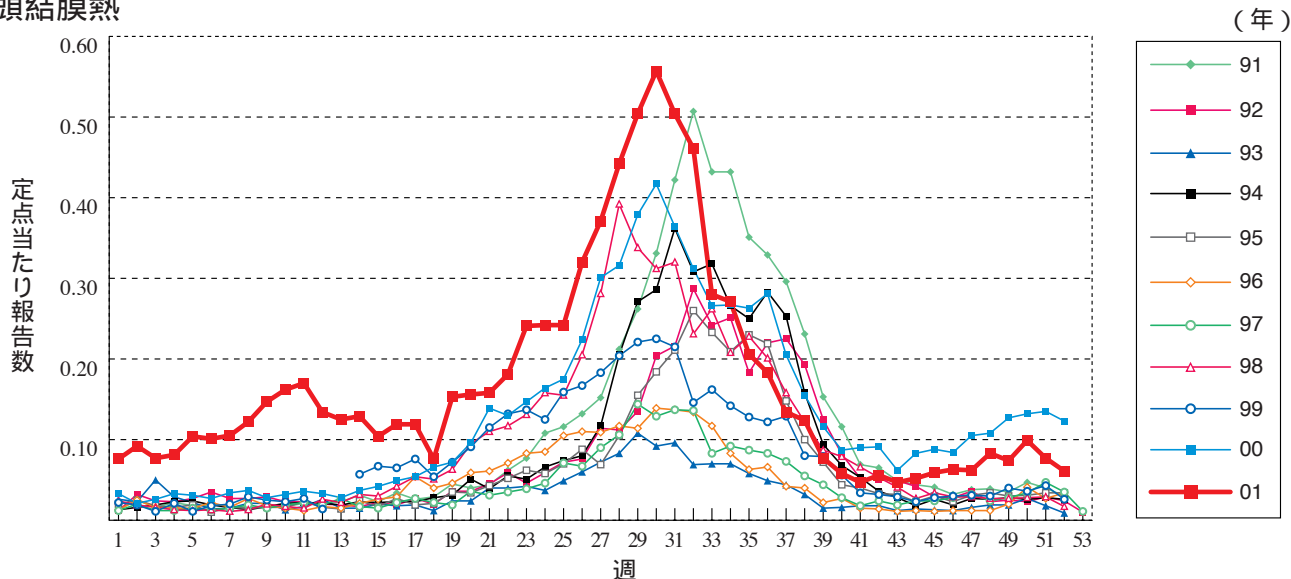


グラフ総覧(52週)

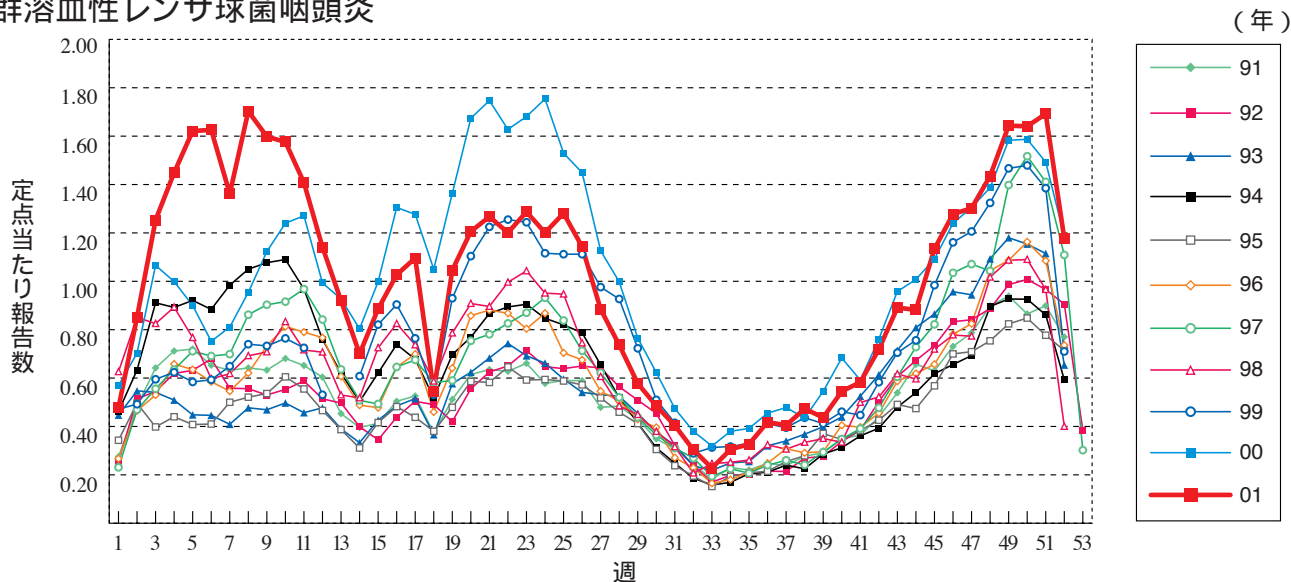
インフルエンザ



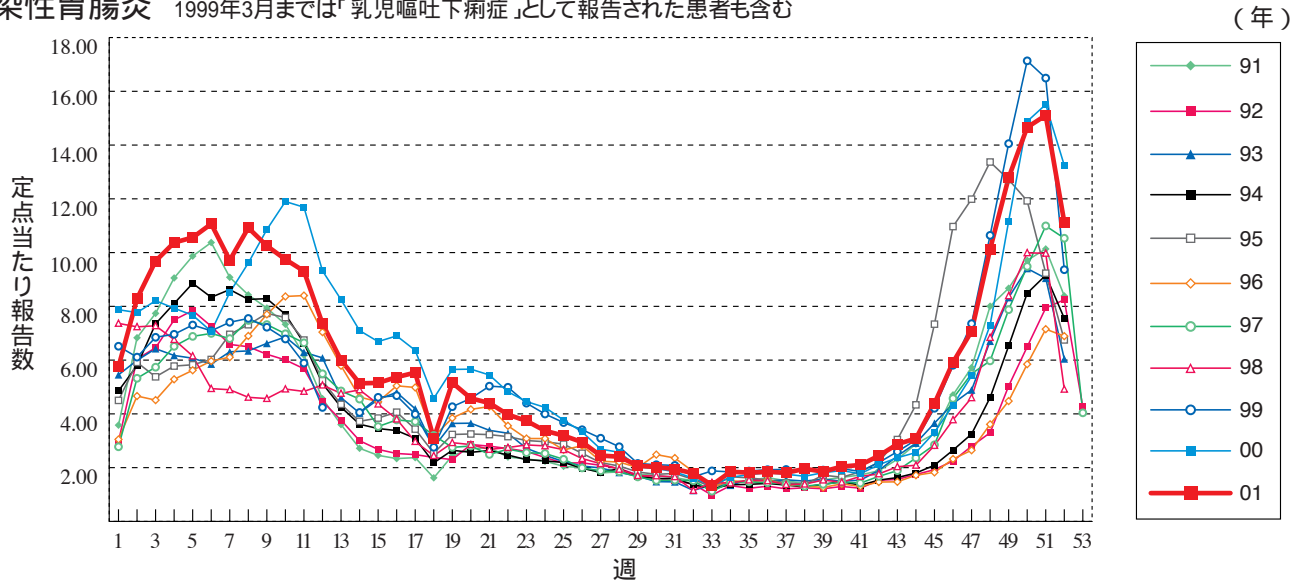
咽頭結膜熱



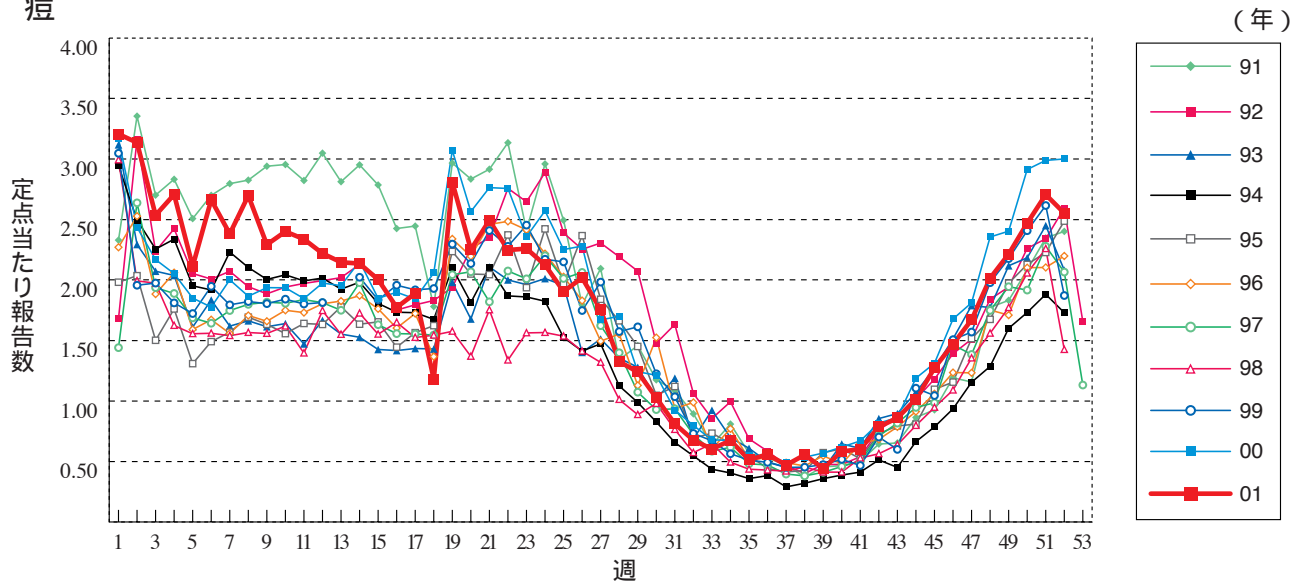
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



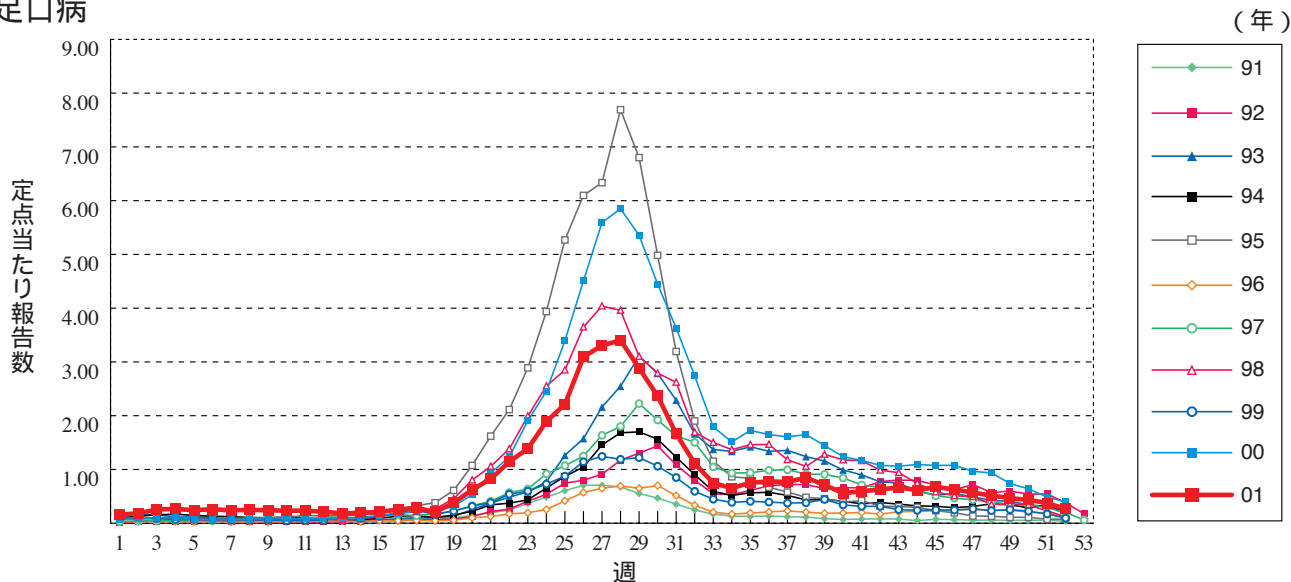
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



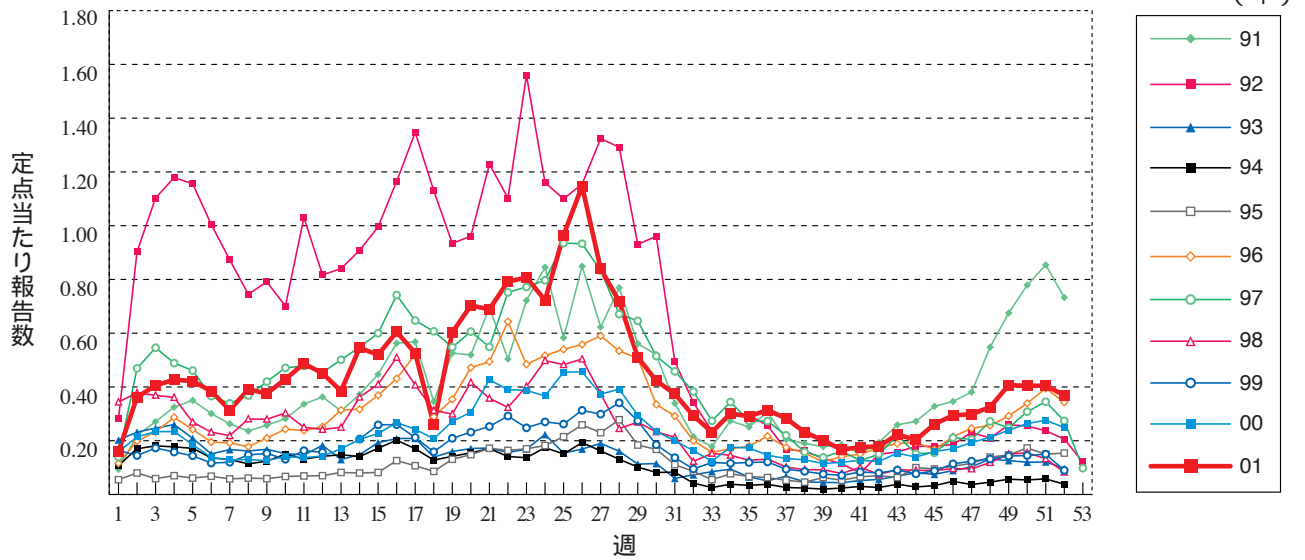
水痘



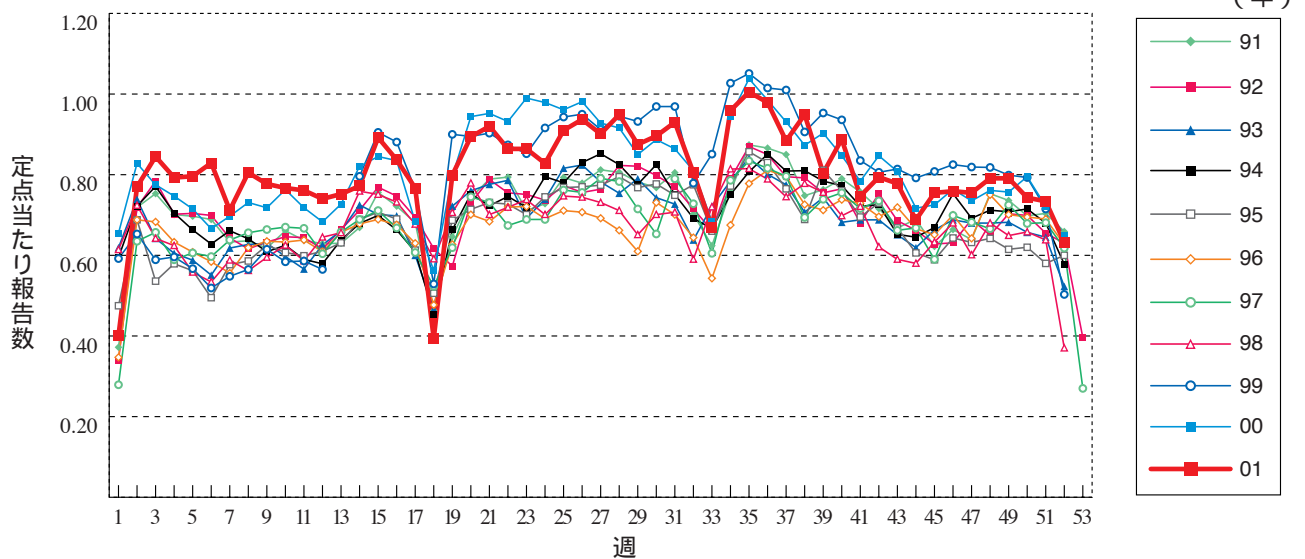
手足口病



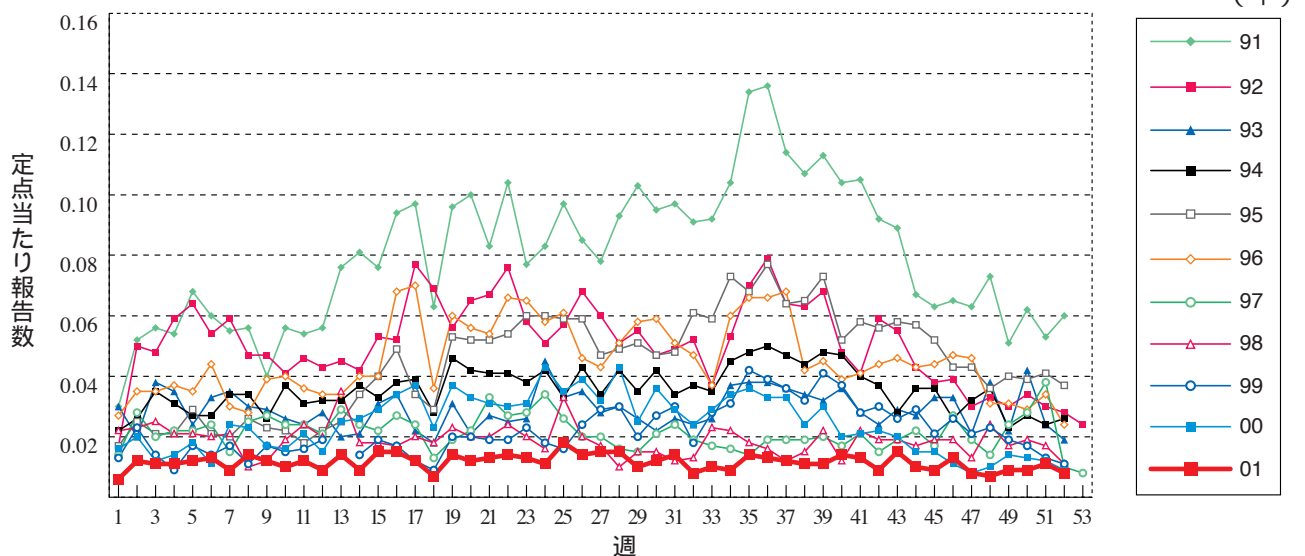
伝染性紅斑



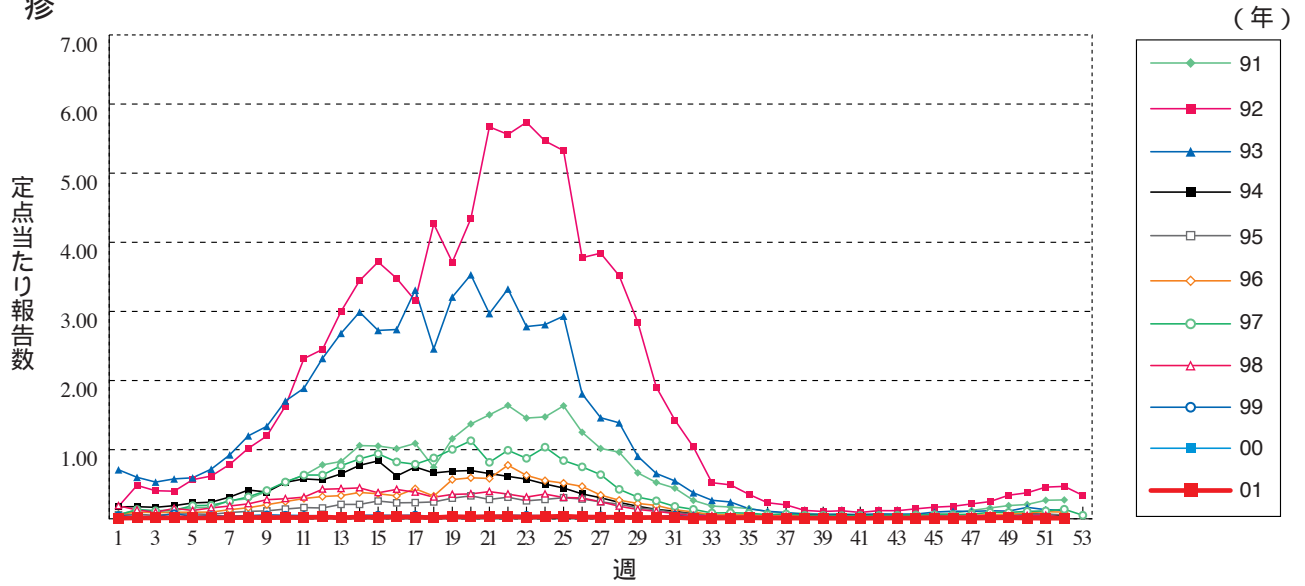
突発性発疹



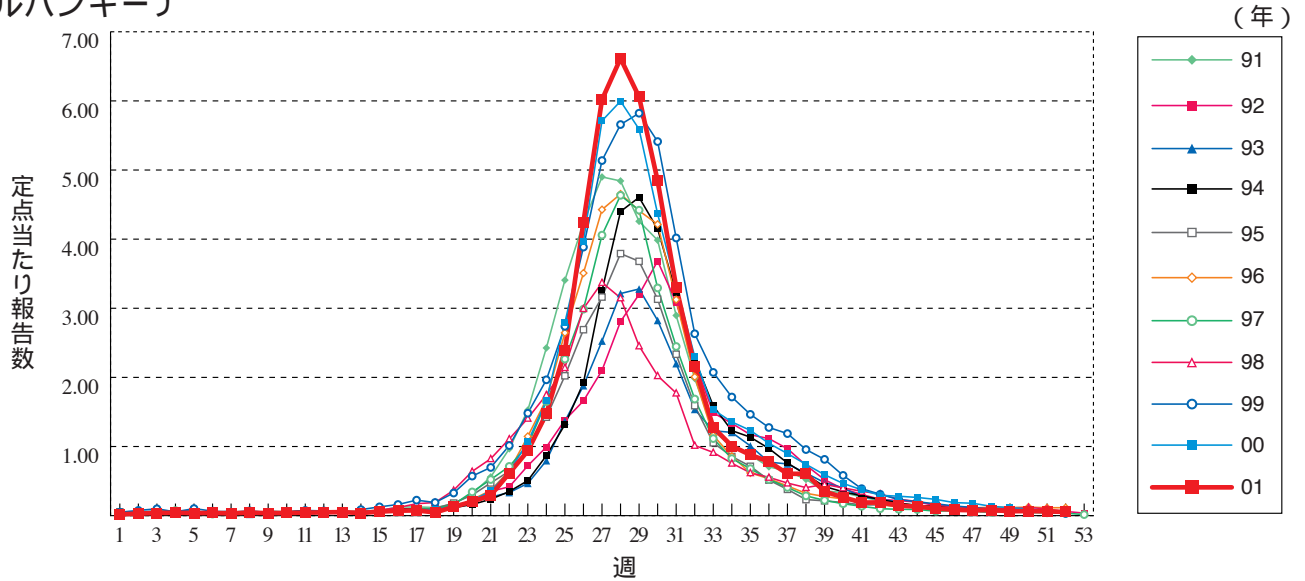
百日咳



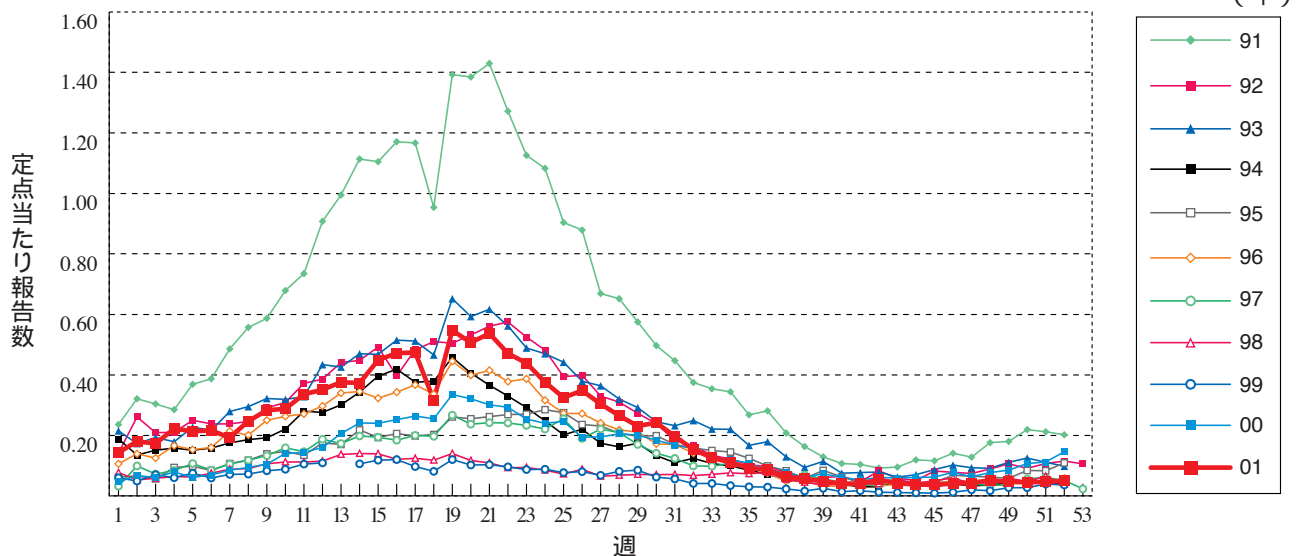
風 疹



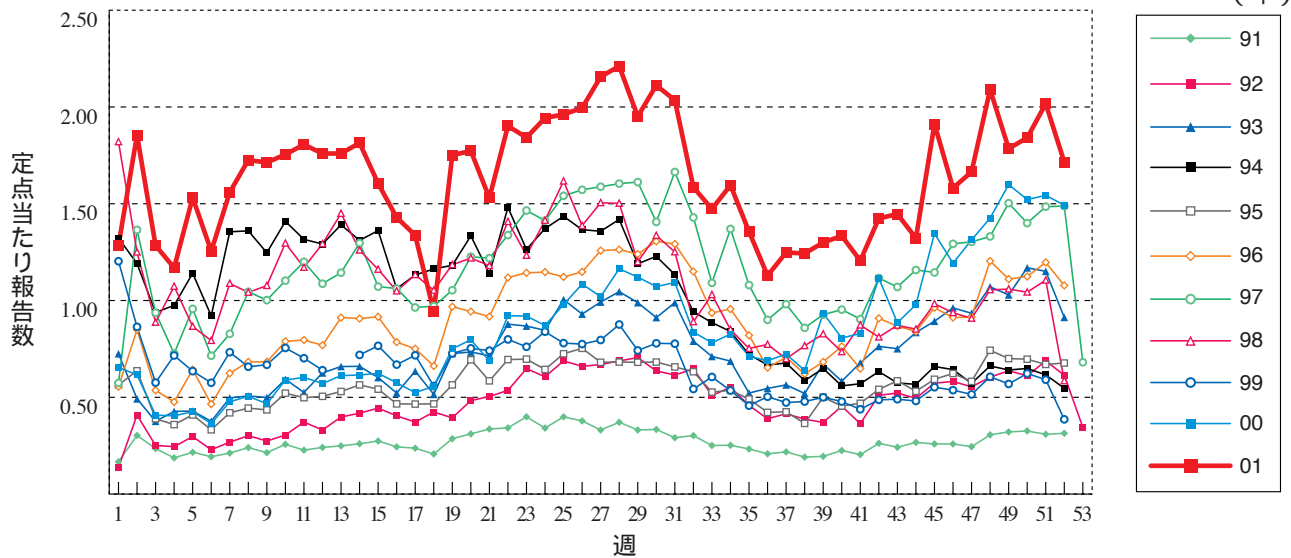
ヘルパンギーナ



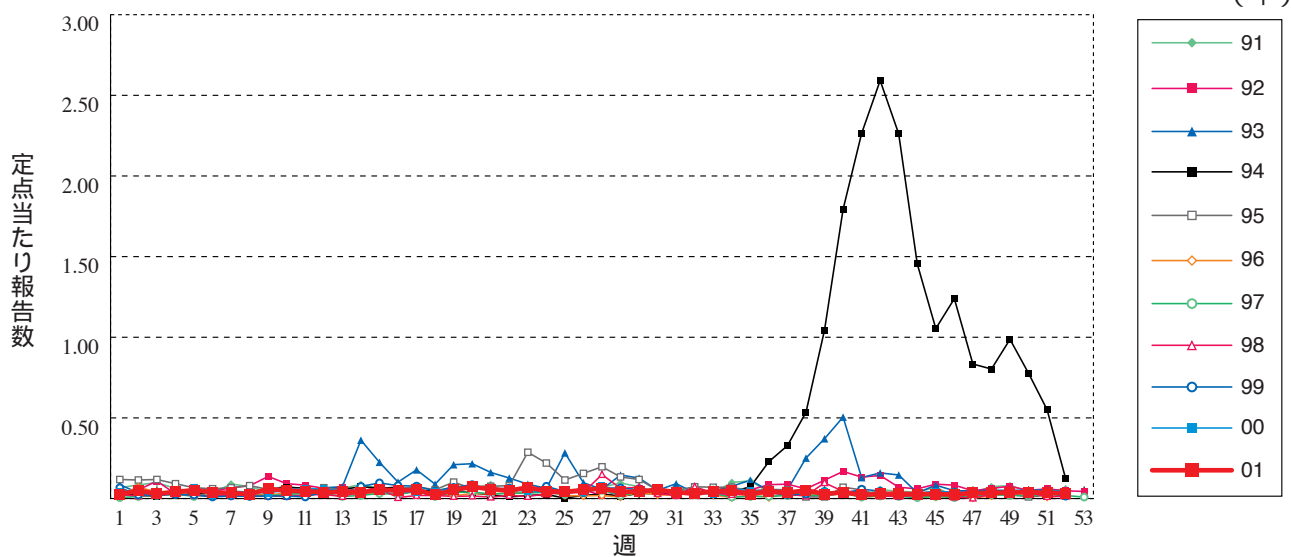
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



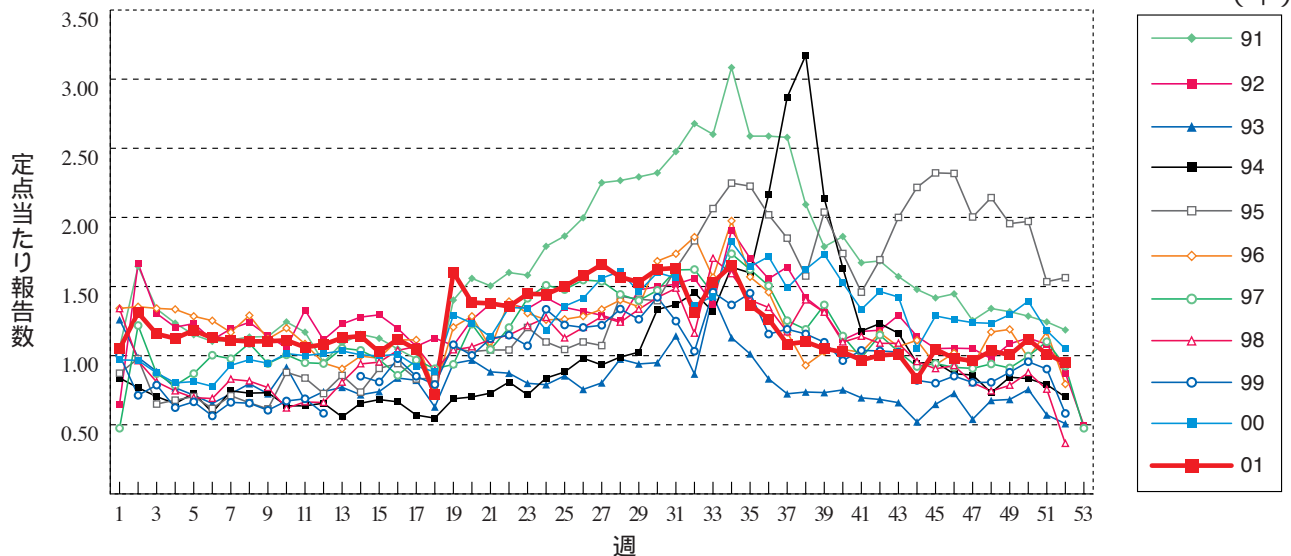
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

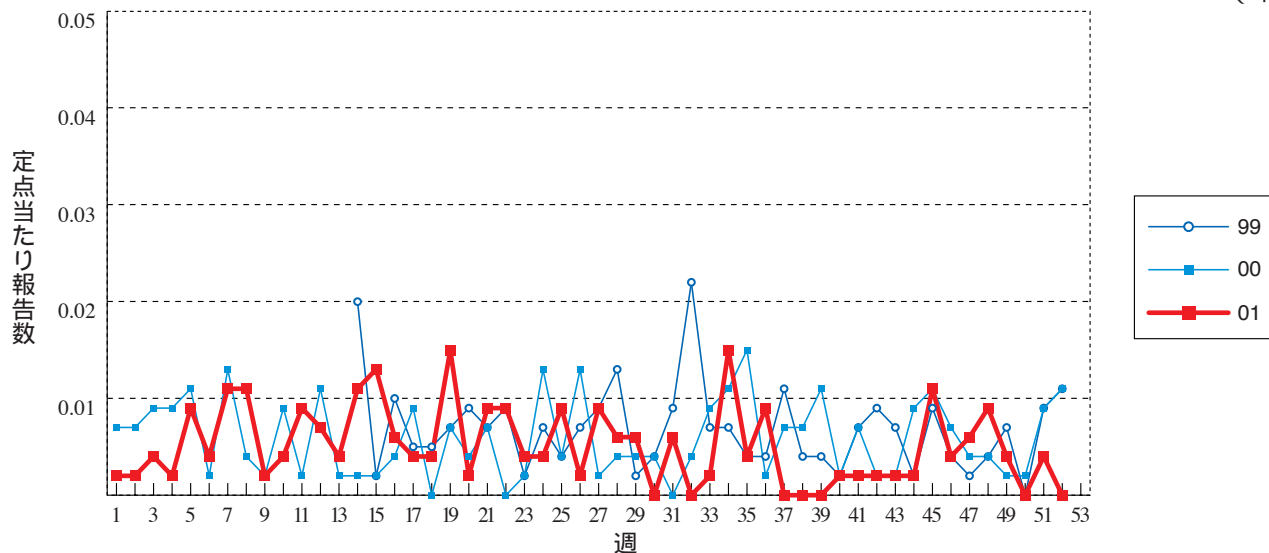


流行性角結膜炎



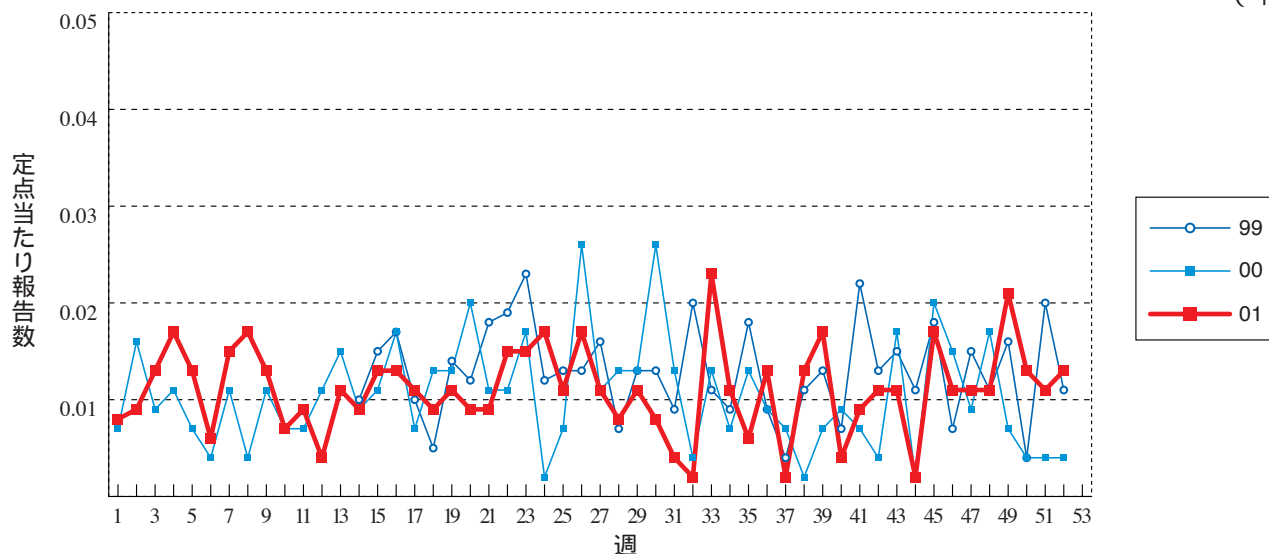
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



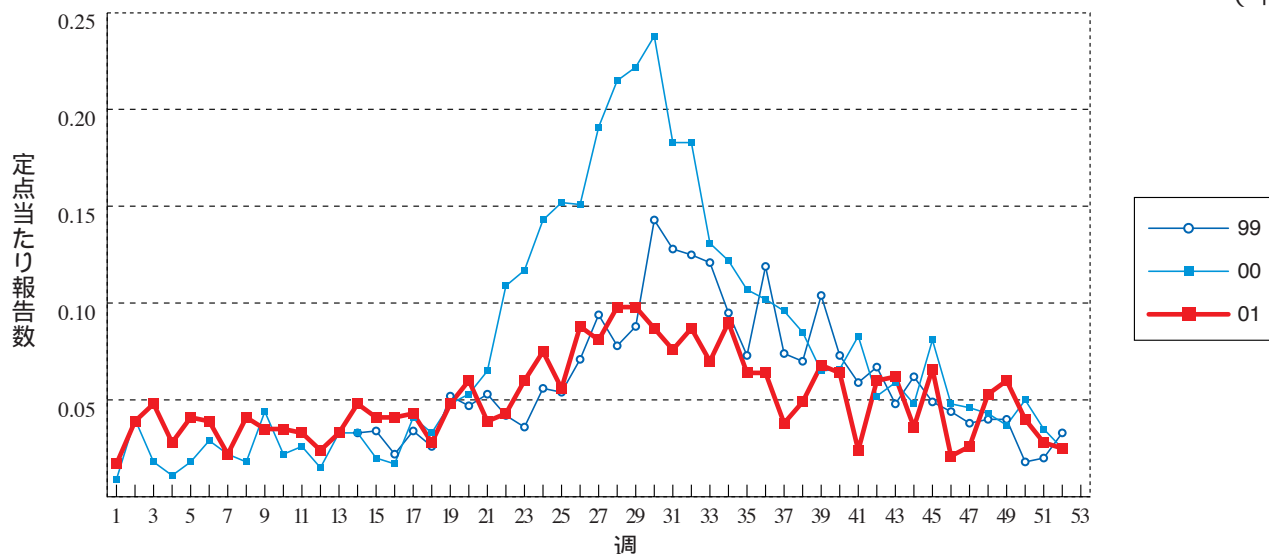
細菌性髄膜炎

(年)



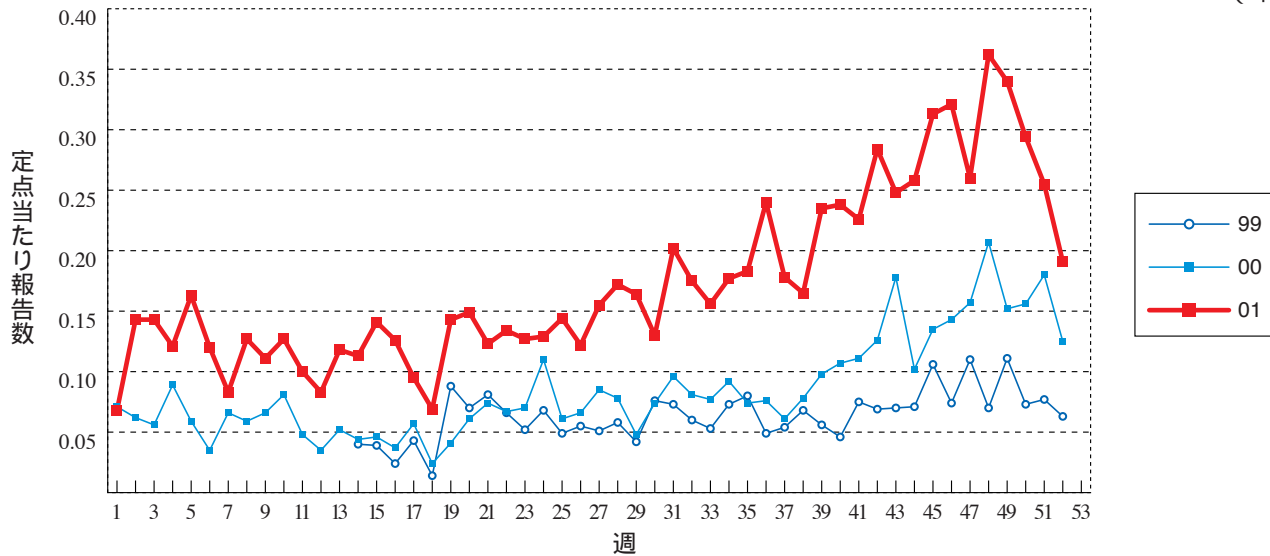
無菌性髄膜炎

(年)



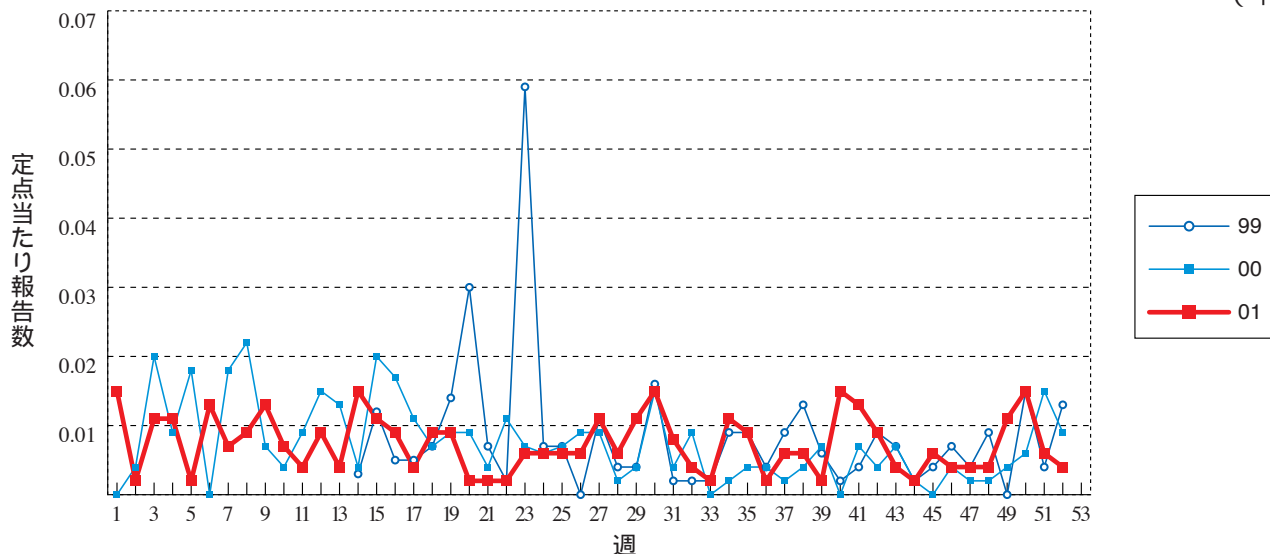
マイコプラズマ肺炎

(年)



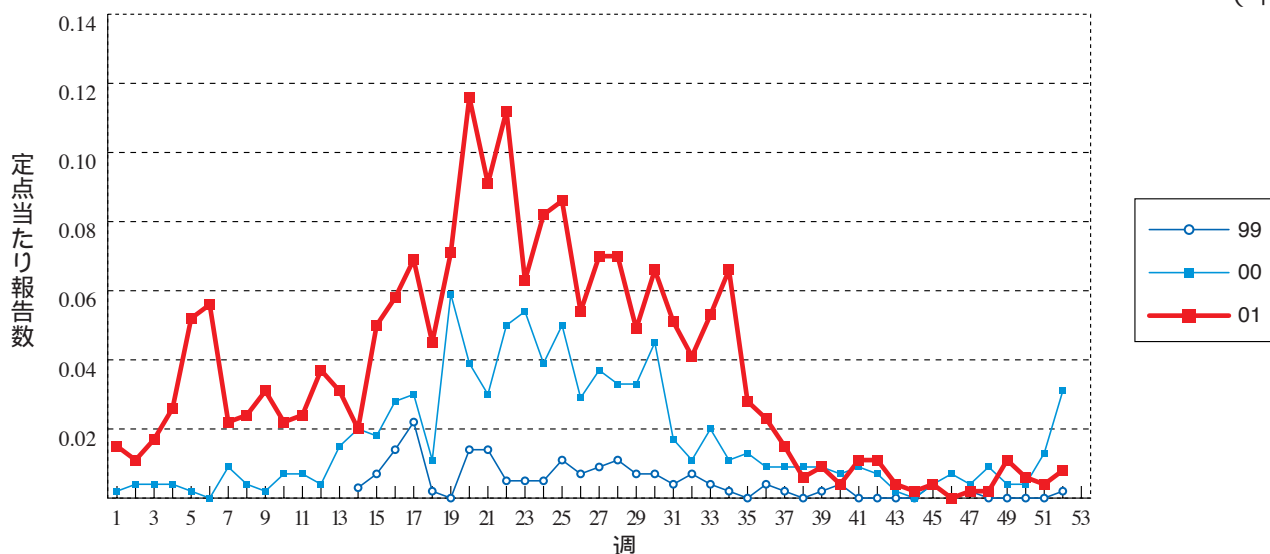
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





52週のデータ

注)表中の報告数は1月9日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年52週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	28	806	1	63	1	22		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	19	-	3	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	2	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	-	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	35	-	5	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	2	134	-	17	-	15		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	42	1	4	-	3		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	16	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	47	-	6	1	3		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	20	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	107	-	7	-	-		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	37	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	2	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	2	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	45	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	32	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年52週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	4279	5	416	-	13	-	-	-	30	-	-	-	885
北海道	-	-	-	-	-	155	-	8	-	11	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	80	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	48	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	29
秋田県	-	-	-	-	-	60	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福島県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	25	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	-	86	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
埼玉県	-	-	-	-	-	213	-	17	-	-	-	-	-	1	-	-	-	18
千葉県	-	-	-	-	-	366	-	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
東京都	-	-	-	-	-	307	-	108	-	-	-	-	-	7	-	-	-	140
神奈川県	-	-	-	-	-	266	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55
新潟県	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	63	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	-	60	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	-	59	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
岐阜県	-	-	-	-	-	22	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57
静岡県	-	-	-	-	-	57	-	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	11
愛知県	-	-	-	-	-	169	1	17	-	-	-	-	-	5	-	-	-	19
三重県	-	-	-	-	-	80	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	44	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	94	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	-	-	-	-	341	1	64	-	1	-	-	-	5	-	-	-	93
兵庫県	-	-	-	-	2	271	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
奈良県	-	-	-	-	-	57	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
和歌山県	-	-	-	-	-	15	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	94	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	79	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
広島県	-	-	-	-	4	88	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	29
山口県	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	15	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	17	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	51	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	18	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	173	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55
佐賀県	-	-	-	-	-	94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	91	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
熊本県	-	-	-	-	-	39	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮崎県	-	-	-	-	-	43	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
鹿児島県	-	-	-	-	1	60	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
沖縄県	-	-	-	-	-	28	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年52週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	40	-	-	-	9	2	130	1	43	12	917	-	1	2	135	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	7	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	1	6	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	25	-	-	1	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	35	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	4	-	58	-	-	-	2	-	-
東京都	-	18	-	-	-	5	-	9	1	6	5	365	-	-	-	58	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	3	-	6	-	2	-	81	-	-	-	12	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	1	22	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1	1	23	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	3	1	44	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	17	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	2	86	-	-	1	16	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	1	-	12	-	3	-	19	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	1	11	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	2	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年52週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	1	-	-	11	460	1	47	-	38	-	5	-	-	8	562
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	1	38	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-	-	-	-	-	-	13
東京都	-	2	-	-	-	-	-	9	1	20	-	-	-	-	-	-	3	100
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	5	-	-	-	-	-	-	-	14
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	4	112
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	4	-	-	-	-	1	24
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	12	-	1	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	28
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
大分県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	1	-	1	-	-	1	33	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	7	76	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年52週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	75	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	104	-	14	-	-	83
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	2
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	3
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
栃木県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	3
東京都	-	4	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	3	-	-	16
神奈川県	-	5	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	2
兵庫県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2
島根県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年52週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2082	0.45	182	0.06	3532	1.18	33408	11.13	7664	2.55	798	0.27	1109	0.37	1898	0.63	24	0.01
北海道	6	0.03	32	0.22	384	2.65	401	2.77	396	2.73	37	0.26	50	0.34	57	0.39	2	0.01
青森県	8	0.13	1	0.02	61	1.45	198	4.71	125	2.98	22	0.52	59	1.40	22	0.52	1	0.02
岩手県	6	0.10	6	0.16	45	1.22	332	8.97	132	3.57	12	0.32	11	0.30	14	0.38	-	-
宮城県	17	0.18	1	0.02	59	1.00	680	11.53	169	2.86	11	0.19	29	0.49	66	1.12	-	-
秋田県	15	0.27	9	0.26	80	2.29	246	7.03	83	2.37	5	0.14	77	2.20	24	0.69	-	-
山形県	5	0.10	1	0.03	145	4.83	346	11.53	99	3.30	13	0.43	19	0.63	29	0.97	1	0.03
福島県	6	0.08	-	-	67	1.40	405	8.44	186	3.88	36	0.75	24	0.50	37	0.77	-	-
茨城県	3	0.03	2	0.03	65	0.89	599	8.21	90	1.23	15	0.21	19	0.26	18	0.25	-	-
栃木県	11	0.16	1	0.02	47	1.02	698	15.17	104	2.26	-	-	29	0.63	25	0.54	-	-
群馬県	266	2.66	1	0.02	62	1.00	596	9.61	179	2.89	3	0.05	11	0.18	36	0.58	-	-
埼玉県	152	0.66	3	0.02	178	1.25	2430	17.11	406	2.86	13	0.09	29	0.20	119	0.84	2	0.01
千葉県	35	0.19	7	0.06	152	1.20	1727	13.60	381	3.00	7	0.06	46	0.36	79	0.62	-	-
東京都	23	0.13	3	0.02	78	0.55	1306	9.20	212	1.49	16	0.11	20	0.14	57	0.40	2	0.01
神奈川県	36	0.11	12	0.06	207	1.00	2321	11.27	414	2.01	71	0.34	59	0.29	129	0.63	1	0.00
新潟県	8	0.08	13	0.22	115	1.92	838	13.97	239	3.98	89	1.48	13	0.22	44	0.73	-	-
富山県	9	0.19	-	-	70	2.41	522	18.00	67	2.31	29	1.00	21	0.72	19	0.66	-	-
石川県	6	0.13	-	-	23	0.79	600	20.69	115	3.97	25	0.86	52	1.79	26	0.90	-	-
福井県	5	0.16	-	-	31	1.41	432	19.64	97	4.41	4	0.18	12	0.55	14	0.64	-	-
山梨県	5	0.12	-	-	16	0.64	190	7.60	26	1.04	4	0.16	3	0.12	4	0.16	-	-
長野県	34	0.40	3	0.06	111	2.06	868	16.07	147	2.72	32	0.59	22	0.41	48	0.89	-	-
岐阜県	68	0.92	3	0.06	29	0.62	270	5.74	108	2.30	6	0.13	30	0.64	16	0.34	3	0.06
静岡県	51	0.37	7	0.08	94	1.09	1353	15.73	297	3.45	27	0.31	18	0.21	53	0.62	1	0.01
愛知県	223	1.16	7	0.04	158	0.87	1533	8.42	295	1.62	29	0.16	43	0.24	104	0.57	-	-
三重県	15	0.21	5	0.11	58	1.29	877	19.49	94	2.09	14	0.31	75	1.67	39	0.87	-	-
滋賀県	14	0.29	-	-	17	0.57	167	5.57	72	2.40	9	0.30	14	0.47	8	0.27	-	-
京都府	36	0.29	1	0.01	45	0.59	562	7.39	134	1.76	47	0.62	34	0.45	26	0.34	1	0.01
大阪府	98	0.33	16	0.08	136	0.71	1273	6.63	327	1.70	29	0.15	24	0.13	93	0.48	2	0.01
兵庫県	45	0.23	9	0.07	85	0.66	1647	12.87	426	3.33	5	0.04	60	0.47	104	0.81	1	0.01
奈良県	17	0.31	-	-	31	0.89	371	10.60	80	2.29	3	0.09	10	0.29	14	0.40	-	-
和歌山県	6	0.12	-	-	27	0.87	317	10.23	57	1.84	18	0.58	3	0.10	19	0.61	-	-
鳥取県	8	0.28	2	0.11	47	2.47	308	16.21	87	4.58	8	0.42	10	0.53	25	1.32	-	-
島根県	3	0.08	5	0.22	10	0.43	288	12.52	64	2.78	11	0.48	6	0.26	12	0.52	1	0.04
岡山県	13	0.15	2	0.04	23	0.43	528	9.78	99	1.83	58	1.07	8	0.15	23	0.43	-	-
広島県	28	0.24	4	0.05	57	0.76	1007	13.43	227	3.03	22	0.29	14	0.19	54	0.72	-	-
山口県	41	0.67	4	0.08	87	1.78	628	12.82	184	3.76	6	0.12	22	0.45	44	0.90	-	-
徳島県	7	0.18	1	0.04	7	0.30	209	9.09	52	2.26	6	0.26	5	0.22	11	0.48	-	-
香川県	9	0.18	4	0.13	16	0.50	364	11.38	136	4.25	17	0.53	8	0.25	30	0.94	-	-
愛媛県	7	0.11	5	0.13	50	1.28	619	15.87	88	2.26	14	0.36	23	0.59	37	0.95	-	-
高知県	35	0.71	-	-	34	1.10	352	11.35	68	2.19	10	0.32	5	0.16	19	0.61	-	-
福岡県	190	1.04	2	0.02	172	1.64	1266	12.06	252	2.40	2	0.02	15	0.14	83	0.79	4	0.04
佐賀県	81	2.08	-	-	51	2.22	239	10.39	78	3.39	-	-	2	0.09	31	1.35	-	-
長崎県	55	0.83	5	0.10	32	0.67	311	6.48	103	2.15	1	0.02	32	0.67	15	0.31	1	0.02
熊本県	24	0.30	1	0.02	87	1.78	580	11.84	145	2.96	6	0.12	15	0.31	50	1.02	-	-
大分県	153	2.64	-	-	36	1.00	648	18.00	132	3.67	1	0.03	13	0.36	44	1.22	-	-
宮崎県	103	1.72	2	0.05	91	2.46	1071	28.95	163	4.41	-	-	5	0.14	40	1.08	-	-
鹿児島県	80	0.82	2	0.03	46	0.77	868	14.47	195	3.25	-	-	9	0.15	29	0.48	1	0.02
沖縄県	16	0.28	-	-	10	0.29	17	0.50	34	1.00	5	0.15	1	0.03	8	0.24	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年52週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	26	0.01	159	0.05	151	0.05	5149	1.72	20	0.03	600	0.95	-	-	6	0.01	12	0.03
北海道	-	-	1	0.01	21	0.14	200	1.38	-	-	44	1.52	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	3	0.07	12	0.29	49	1.17	-	-	32	2.91	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	1	0.03	49	1.32	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	11	0.19	-	-	137	2.32	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	2	0.06	124	3.54	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	114	3.80	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	2	0.04	2	0.04	120	2.50	1	0.08	14	1.17	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	1	0.01	2	0.03	182	2.49	-	-	35	2.19	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	1	0.02	68	1.48	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	1	0.02	80	1.29	1	0.07	49	3.50	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	13	0.09	3	0.02	159	1.12	2	0.06	26	0.79	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	3	0.02	9	0.07	176	1.39	-	-	29	0.88	-	-	1	0.08	-	-
東京都	-	-	8	0.06	4	0.03	96	0.68	-	-	12	0.86	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	1	0.00	5	0.02	2	0.01	215	1.04	3	0.07	44	1.05	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	1	0.02	-	-	168	2.80	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	5	0.17	4	0.14	119	4.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	1	0.03	204	7.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	0.05	17	0.77	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	79	3.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	0.02	305	5.65	-	-	9	0.90	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	3	0.06	67	1.43	2	0.18	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	-	-	21	0.24	146	1.70	-	-	15	0.75	-	-	1	0.13	1	0.13
愛知県	2	0.01	3	0.02	16	0.09	242	1.33	-	-	12	0.34	-	-	1	0.08	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	84	1.87	-	-	14	1.17	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	19	0.63	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	2	0.03	4	0.05	-	-	74	0.97	-	-	6	0.33	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	7	0.04	12	0.06	148	0.77	2	0.04	30	0.58	-	-	-	-	3	0.25
兵庫県	-	-	6	0.05	-	-	152	1.19	-	-	13	0.37	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	45	1.29	-	-	4	0.44	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	3	0.10	69	2.23	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	14	0.74	12	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	1	0.04	-	-	33	1.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	0.04	83	1.54	1	0.08	16	1.33	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	2	0.03	1	0.01	77	1.03	1	0.05	26	1.30	-	-	-	-	-	-
山口県	4	0.08	8	0.16	-	-	41	0.84	1	0.11	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	64	2.78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	50	1.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	-	-	171	4.38	1	0.14	11	1.57	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	2	0.06	-	-	10	0.32	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	5	0.05	20	0.19	6	0.06	168	1.60	-	-	16	0.67	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	18	0.78	4	0.17	74	3.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	39	0.81	4	0.40	8	0.80	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	9	0.18	-	-	60	1.22	-	-	14	1.56	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	-	-	2	0.06	-	-	84	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	0.08	-	-	122	3.30	-	-	12	3.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	3	0.05	2	0.03	185	3.08	1	0.17	9	1.50	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	1	0.03	-	-	169	4.97	-	-	6	0.60	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年52週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	90	0.19	2	0.00	4	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	5	0.25	-	-	-	-
宮城県	8	0.67	-	-	-	-
秋田県	7	1.00	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	5	0.38	-	-	2	0.15
東京都	3	0.12	-	-	1	0.04
神奈川県	2	0.18	-	-	-	-
新潟県	2	0.14	-	-	-	-
富山県	3	0.60	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.25	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	1	0.07	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	3	0.38	-	-	-	-
岡山県	5	1.00	-	-	-	-
広島県	6	0.29	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	5	0.63	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	1	0.07	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第52号 平成14年1月21日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。